

ハーモニー

第32号 2003年9月1日発行
日本養護教諭教育学会

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学養護教育講座
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491
振替口座：00880-8-86414

目次

第11回学術集会（徳島）プログラム	2
学術集会（徳島）の企画紹介	4
学術集会事務局からのお知らせ	4
ホットニュース：「養護教諭をとりまく職種等の現状」..	5
西宮市における現職研修	6
学会共同研究班からの活動報告	7
「Yogo teacher」の英語説明文について	7
学会誌第7巻第1号の投稿原稿受付中	7
日本養護教諭教育学会第12回総会告示	8
ハーモニーの企画について	8
お知らせ、編集後記	8

日本養護教諭教育学会 第11回学術集会プログラム

メインテーマ 「子どもの発達支援の立場から養護教諭の教育実践を考える」

期日 2003年10月11日(土)12時～10月12日(日)16時

会場 徳島大学共通講義棟 (工学部キャンパス) 発光ダイオードの時計が目印です
〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 JR徳島駅からバスで10分(助任橋下車)、徒歩10分

10月11日(土)第1日目

◇学会共同研究(13:00～13:30)..... 座長 三木とみ子(女子栄養大学)

健康教育に必要な養護教諭の能力に関する研究 第2報-実践分析から-

「健康教育に必要な養護教諭の能力を考える」班 2年次報告

○小林央美(青森県総合社会教育センター)他

◇「Yogo teacherの英語説明文」の検討報告(13:30～13:50)・・・理事会 植田誠治(茨城大学)他

◇ワークショップ(13:50～15:30)

養護教諭をとりまく現状と課題-さまざまな職種の導入をめぐる-

1. 全体会 コーディネーター代表 徳山美智子(愛知女子短期大学)

2. 分科会

①「健康管理における養護教諭と看護師」: 郷木義子(順正短期大学)

話題提供: 山崎千賀子(岡山県立岡山東養護学校) 三輪邦江(岡山県立岡山盲学校)

②「健康教育における養護教諭と学校栄養職員」: 松下美智子(徳島県勝浦中学校)

話題提供: 瀬川政子(徳島県板野東小学校) 鎌倉弓子(香川県水上小学校)

③「健康相談活動における養護教諭とスクールカウンセラー」: 徳山美智子

話題提供: 安川裕美(西宮市立甲武中学校) 平松和枝(大阪府立柴島高等学校)

島田順子(徳島県一宇中学校)

◇特別講演(15:40～17:10)..... 座長 天野敦子(前 愛知教育大学)

「My こども論」

中堀 豊(徳島大学大学院医学研究科 教授)

◇懇親会(18:00～20:00) ホテルグランドパレス徳島

10月12日(日)第2日目

◇一般演題(9:00～10:00)

第I会場(9:00～10:00)..... 座長 楠本久美子(四天王寺国際仏教大学短期大学部)

I-1 健康相談活動における聴くことの大切さについて ○丸岡啓子(徳島市立昭和小学校)

I-2 高校生の心身の健康問題の支援に関する考察-教諭と養護教諭の考え方について-

○辻 立世(鈴鹿国際大学短期大学部)

I-3 養護教諭の倫理に関する研究 ○中村朋子(茨城大学教育学部)他

I-4 養護教諭の行うスキンシップタッチに関する研究 ○中村朋子(茨城大学教育学部)他

第II会場(9:00～10:00)..... 座長 松嶋紀子(大阪教育大学)

II-1 養護教諭養成教育のあり方に関する研究-カリキュラム改革と授業改善の学生評価から-

○田代桂子(岡山県立矢掛商業高等学校)他

II-2 養護実習における事後指導-グループワークをとり入れた授業の試みから-

○塩田瑠美(千葉大学)他

II-3 養護教諭の現職研修に関する一考察 第1報-年次別研修に該当しない常勤講師の場合-

○市木美知子(京都市教育委員会)他

II-4 職制運動に学ぶ

○杉浦守邦(蘇生会総合病院)

第III会場(9:00～10:00)..... 座長 松田芳子(熊本大学教育学部)

III-1 エイズ教育における学校保健と地域保健の連携-養護教諭の関わりの一考察-

○前田かおり(徳島県立鴨島商業高等学校)

III-2 養護教諭の職務の特質を生かす「保健教育のカリキュラム創造」-保健学習と保健指導をネットワークする中学3年間のカリキュラムデザイン-

○木下洋子(福井大学教育地域科学部附属中学校)

III-3 中学校における性に関する意識と性教育のあり方

○池永理恵子(福山市立城東中学校)

III-4 保健学習の授業分析から捉えた養護教諭の技能に関する一考察

○花井典子(豊橋市立下条小学校)他

◇シンポジウム (10:00～12:30)..... 座長 中安紀美子 (徳島大学総合科学部)
子どもの発達支援と養護教諭の役割

- ① 教育学の視点から：湯浅恭正 (香川大学教育学部)
- ② 教育と医療を繋ぐ：高橋香代 (岡山大学教育学部)
- ③ 実践者の立場から：石田法子 (山口県下関商業高等学校)

◇総会 (13:30～14:30)

◇一般演題 (14:30～16:00)

第Ⅰ会場 (14:30～15:15)..... 座長 岡田加奈子 (千葉大学教育学部)

- I-5 北海道における子どもの心の健康問題に関する報告 ○今野洋子 (北海道浅井学園大学)
- I-6 健康相談活動における養護教諭の「体への対応」の実際
- 39例の実践事例の分析から - ○道上恵美子 (埼玉県立春日部高等学校) 他
- I-7 頻回来室にいたる中学生の行動変化のプロセスと影響要因
- 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて -
○酒井都仁子 (長南町立西小学校) 他

(15:15～16:00)..... 座長 大谷尚子 (茨城大学教育学部)

- I-8 養護教諭の役割と専門性を活かした健康相談活動 第3報
○小西俊子 (大阪市立東井高野小学校) 他
- I-9 養護教諭の役割と専門性を活かした健康相談活動 第4報
○大髭桂子 (大阪市立旭東中学校) 他
- I-10 養護教諭の役割と専門性を活かした健康相談活動 第5報
○角道静枝 (大阪市立阪南中学校) 他

第Ⅱ会場 (14:30～15:15)..... 座長 中桐佐智子 (吉備国際大学)

- II-5 学校における医療的ケアと養護教諭 - 保護者の期待 -
○大川尚子 (関西女子短期大学) 他
- II-6 肢体不自由養護学校に必要な養護教諭の養成課題について
○辻立世 (鈴鹿国際大学短期大学部) 他
- II-7 保健師学生の養護学校体験学習からの一考察
- 教育と医療・地域保健との連携を求めて - ○安藤裕美 (大阪府立交野養護学校) 他

(15:15～15:45)..... 座長 三村由香里 (岡山大学教育学部)

- II-8 新築校舎におけるシックハウス症候群に関する研究
○川内ツルキ (四国大学) 他
- II-9 小学生の前頭葉機能と睡眠時間及び落ち着きのなさの関係
○岩佐幸恵 (徳島県立看護専門学校) 他
- II-10 児童・生徒におけるトラウマ
○新山悦子 (徳島大学大学院) 他

第Ⅲ会場 (14:30～15:15)..... 座長 鎌田尚子 (女子栄養大学)

- III-5 養護教諭に求められる資質や能力に関する研究 - 生徒保健委員会活動への支援と評価から -
○間脇真澄 (福井市立成和中学校) 他
 - III-6 アメリカ・スクールナースの実践活動の基準と養護教諭の役割と専門性についての一考察
○中丸弘子 (広島国際大学)
 - III-7 養護教諭の執務における統計処理に関する調査
○大西真由実 (鈴鹿国際大学短期大学部)
- (15:15～16:00)..... 座長 木村龍雄 (大阪教育大学)
- III-8 食事場面における個別保健指導の検討 - 「3つの関係づくり」で発達をとらえて -
○鈴木 薫 (岡山市立大宮小学校)
 - III-9 学校におけるヘルスプロモーションモデルの検討
- 養護教諭の行う食教育のアプローチ - ○竹内理恵 (鳴門教育大学附属小学校/徳島大学大学院) 他
 - III-10 高等学校における喫煙防止教育と養護教諭の役割
○貴志知恵子 (徳島県立徳島北高等学校)

学術集会（徳島）の企画紹介

実行委員長 中安紀美子

第11回学術集会のメインテーマとシンポジウムは、子どもの発達支援と養護教諭の教育実践をテーマとしました。「発達」というキーワードは、発達課題や発達段階など養護教諭の実践記録に多用されています。しかし、その割に具体的なイメージが湧かないのではないのでしょうか。養護教諭は、保健室に来るさまざまな困難や障害を持つ子どもの個別的対応に日々追われています。そのために、子どもの問題解決にとらわれてしまい、教育的な発達支援にまで至らない場合が少なくありません。今日の子どもは、どの子も何らかの困難を抱えています。発達を支える生活や環境と子どもの心身のダイナミックな関係や相互作用を包括的にとらえ、教育としての発達支援論を再構築することが、養護の質を高めるのではないかと思います。

シンポジストの湯浅氏とは、共に「人間の生活・身体・社会研究フォーラム」を組織し、さまざまな分野の方と交流してきました。この会では多くのことを学びましたが、子どもの困難や障害を生活との関係においてとらえ、主体的に学びや生活に参加させることによって、子どもが他者、環境、自分自身と出会い直す「生活をつくる」という発達支援を学びました。また、高橋氏は岡山大学における養護教諭養成のカリキュラムを中心となって開発してこられました。教育と医学を繋ぐをテーマに提言していただきます。養護教諭の石田氏は、お二人の提言を具体化する多くの素晴らしい実践を報告していただけます。

ワークショップは子どものこうした健康現実から学校に導入されつつあるさまざまな職種との連携の問題を取り上げ、養護教諭が主体的に担うべき役割について考えます。この問題は養護教諭の養成や専門性の根幹に触れ

る、重要かつ差し迫った課題でもあります。コーディネーター代表の徳山氏による全体会と、松下氏と郷木氏のコーディネーターを加えた3つの分科会で、フロアの皆様と一緒に意見を出し合う場にできればと思います。

最後になりましたが、特別講演の中堀氏は、人類遺伝学者として、遺伝子を扱うミクロの視点、ヒトの進化といったマクロな視点を併せ持っていていらっしゃいます。また、小児科医、公衆衛生の実践家として子どもに関わり、日頃の経験をもとに、個から集団に至るユニークな子ども論を展開していただけます。

研究発表も興味深い30の演題が寄せられました。実行委員一同、学術集会の盛会を期して、日夜準備を進めております。多くの皆様にご参加いただき、活発な討論をお願いいたします。

学術集会事務局からのお知らせ

学術集会の行われる日は、3連休に加え、徳島市では複数の会が催されます。宿泊、切符等は早めの準備をお願いします。また、休日のため近辺に食堂が少なく、学会日程も詰まって昼食時間は限られています。お弁当をご予約、ご購入下さるようお願いいたします。お弁当と懇親会のお食事は、過密な日程の折から、皆様にくつろいでいただけるよう厳選いたしました。また、懇親会の会場と宿泊施設は、交通の便利の良い徳島駅周辺を選びました。会場までのバス料金は200円ですが、タクシーに乗り合わせれば料金は変わりませんし、会場まで直行ですので便利です。



養護教諭をとりまく職種等の現状

徳山美智子（愛知女子短期大学）

鈴木 裕子（横浜市立高田東小学校）

このところ養護教諭の周辺の慌しさが現実のものとなってきました。養護教諭自体の話題ではありませんが、関連の深い職種等の動向に注目したいと思います。ここでは「特別支援教育コーディネーター」「キャリアカウンセラー」「栄養教諭」の3つを取り上げます。

まず、特別支援教育コーディネーター（仮称）は、本年3月、「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」において、保護者や関係機関に対する学校の窓口、また学校内の関係者や福祉、医療等の関係機関との連絡調整役として小・中・盲・聾・養護学校の各校に置き、校務として位置付ける必要性が示されました。具体的役割は、学校や地域の実情によって多様であるとする一方で次のような記述も見られます。「例えば医療的ケアの必要な児童生徒への対応のための医療機関や福祉機関との連携協力、学校外の専門家の非常勤講師としての活用など、常に児童生徒のニーズに応じた教育を展開していくための柔軟な体制づくりを検討する」。これについては、本学会第10回学術集会におけるワークショップで、養護教諭の役割の一つとして紹介されたものと重なる部分が多いと思われる。すでに養成（現職研修）が始まった地域もありますが、養成の対象に養護教諭が含まれていない自治体もあるようです。早急に養護教諭のコーディネーターとしての役割との関連について検討していく必要があります。

つぎに、文部科学省のキャリア教育研究協力者会議は、キャリア教育を「児童・生徒の一人ひとりの勤労観、職業観を育てる教育」と定義しました。そして、その推進方策とし

て、教育課程への位置づけ、体験活動等の活用、多様で幅広い他者との人間関係の構築等を挙げ、推進するための条件整備の一つとして、教員一人ひとりの資質の向上等とともにキャリア・カウンセリングを担当する教員（キャリア・カウンセラー）の養成を盛り込んだ中間報告書をまとめ、最終報告を今秋に策定するとしています。不登校の児童生徒をはじめ、一般児童生徒の進路に関する相談にも現実に対応している養護教諭として、今後こうした担当者との連携も視野に入れて健康相談活動を展開していかなければなりません。

さらに、中央教育審議会スポーツ・青少年分科会の食に関する指導体制部会は、栄養教諭（仮称）創設に向けて骨子案をまとめました。そして、栄養に関する高い専門性を確保するため、管理栄養士程度の資格を求めています。食生活は、子どもの心の健康や、記憶力などにも関連があると指摘しており、職務として、教科・特別活動での指導や個別対応と、食に関する指導と給食管理の両方を担当することを求めています。文部科学省は、早ければ、平成17年度にも創設したいと考え、同部会は年内に報告書をまとめる方針であるとしています。食や栄養に関する指導は、養護教諭が健康教育の一環として従来から推進してきましたが、将来に向けて、より効果的な活動の在り方を探り、栄養教諭との棲み分けについて具体的に検討する時期が来ています。

多様な職種が健康教育に関わり、養護教諭にはより高度な職務内容が求められる昨今、養護教諭の職務内容や教育課程について抜本的な見直しが必要です。関連領域においても変化の著しい時期だからこそ、養護教諭の課題の検討が火急のことだと言えます。会員の皆様の叡智を結集して養護教諭の未来について考えたいと思います。

西宮市における現職研修

北口和美（西宮市教育委員会）

西宮市は人口45万人の市で、学校園数87校園、養護教諭は91名、教育委員会には係長と指導主事として2名の養護教諭が配置されている。指導主事は昭和50年4月から2名置かれ、平成5年から管理職として登用されるようになった。このような状況は他市と比較すると学校保健の推進や現場の養護教諭にとって恵まれた環境にあるといえる。

指導主事は主に健康診断の推進、養護教諭の指導・助言を行い、係長は学校保健全般に関係するが、特に予算や関係機関・団体との連絡調整を要する学校精神保健事業・就学時健康診断・学校保健会等を担当している。（学校給食については学校給食係が担当）

市段階での現職研修は、初任者研修（新規採用1・2年次）3日、5・6年次研修1日、10・11年次研修1日、15・16年次研修1日、全体研修として健康教育研修2日、養護教諭研修2日、学校保健研修1日、保健主事・学校精神保健推進委員研修1日、他に学校保健研究協議大会1回を実施している。

現在、教師の研修については、ほとんどが総合教育センターで実施しているが、学校保健・養護教諭の研修に関しては私たちが担当している。センターに学校保健に関する専門の担当者がいない現状から、直接私たちが担当する方がより充実した研修になるという考えからである。

また、西宮市も財政難の折、教育予算についても削減される方向にあり、研修回数を見直しを余儀なくされている。そのような中、現在行っている研修が削減されないよう、必要性について納得を得るのも私たちの大きな役割であり、あの手この手で頑張っている。現職研修の推進は、一部を除き指導主事の担

当となるが、企画に対しては相互の意見交換や助言を行い充実した研修となるよう心がけている。その際留意している点は、1年間の研修に計画性を持つこと、教育長・教育委員長等の講義を入れ教育の方向性と課題の認識、学校保健の方向性と課題、養護教諭の力量を高めるための専門研修・最新の医学研修を行うこと等である。これまでの本年度の研修では、養護教諭出身の校長を招聘し「養護教諭に期待すること」と題して養護教諭の職務や役割について鋭く講義頂いた。また、夏期休業中に行う健康教育研修会では、教育委員長による講話、子ども達の性の問題を踏まえた「性教育」、15年度から実施の「特別支援教育の方向」さらに「医療的ケア」、西宮市養護教諭研究会の研究テーマ「課題意識を高める健康教育」と関連した「モラルジレンマ授業と健康教育」の5講義を行い、教諭を含めて2日延べ230余人の参加を得た。特に特別支援教育は、養護教諭の職務である「心身の健康問題を抱える子どもの個別指導」と深く関連しており、一人ひとりのニーズに応じた教育や健康管理プランをどのように計画するかが問われ、より一層の専門性を発揮することが求められる。当然、医療的ケアの問題も切り離しては考えられない。現職研修では、計画する側に、現場でどのような研修が求められているかを見極める力と企画力が参加者の数によってシビアに問われる。

また、経験者研修は、対象人数の関係で合同研修とする所もあると聞くと、各段階で研修する内容・押さえるべき事は異なることから、本市では個々に実施している。特に経験者研修では、養護教諭の職務と役割について徹底して考える機会としている。そこには計画する側の養護教諭像が問われることは自明のことである。

学会共同研究班からの活動報告

「養護教諭の実践の評価について —研究の成果をどう生かすか—」の研究経過報告
研究班代表 江崎和子（京都市崇仁小学校）

◇第1回研究会

日時：2003年3月28日（金）13:00～16:00
場所：大阪教育大学（天王寺キャンパス）松嶋研究室
出席者：6名（江崎、大川、楠本、辻、外山、松嶋）
内容

研究テーマの確認と研究目的及び研究方法について話し合いました。特に「研究の成果をどう生かすか」については、近年、多くの養護教諭が大学院で学ぶ機会が増えているという背景により、大学院修了者及び在学者に対して、その研修や研究の成果がどう生かされているか、また、どう生かそうとされているかという視点で調査研究することになりました。

また、養護教諭の実践の評価についても研究班の中で共通理解していくことを確認し、今後の研究計画を立てました。

◇第2回研究会

日時：2003年8月15日（金）13:00～17:30
場所：大阪教育大学（天王寺キャンパス）松嶋研究室
出席者：5名（江崎、楠本、下村、辻、松嶋）
内容

調査の質問内容について検討しました。さらに第3回研究会（8月31日）で検討する予定です。作成した質問紙による調査は9月～10月頃実施する予定です。

なお、調査対象者につきましては研究班のメンバーがそれぞれ選出していますが、会員の皆様の中で条件（大学院修了者及び在学者）に該当し、ご協力いただける方は、是非、お知らせいただければと思います。

京都市立崇仁小学校 江崎まで

FAX075-341-7146

よろしく願いいたします。

「Yogo teacher」の 英語説明文について 理事会

ハーモニー31号で、2001年度から2ヶ年にわたって活動した英訳ワーキングによる「Yogo teacher」の日本語説明文（案）を紹介し、会員からの意見等を募りました。その結果、2名からの連絡がありましたが、説明内容を大きく変更すべきとの意見ではありませんでした。そこで、日本語説明文とともに提案された英訳ワーキンググループの英語による説明文（案）を報告いたします。現在、理事会では最終的な説明文（案）を検討しており、次期学術集会及び総会を通じて提案の予定です。

A Yogo teacher is an educator with a special license permitting the support of children's growth and development through health education, health and nursing management in all area of school educational activities based on an idea of health promotion.

学会誌第7巻第1号の投稿原稿受付中 ～締め切り迫る～

「日本養護教諭教育学会誌」第7巻第1号の原稿を募集しています。原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他です。

年間を通して受け付けていますが、第7巻第1号の原稿の最終締め切りは、**2003年9月30日**です。期日が迫っていますので、会員の皆様は奮ってご投稿下さい。詳細については学会誌第6巻1号に掲載の「投稿規定最終改正2001年10月7日」をご覧ください。ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい。

—積極的な投稿をお待ちしています—

日本養護教諭教育学会第12回総会告示

理事長 天野敦子

日時 2003年10月12日(日)13:30～14:30

場所 徳島大学

議題1. 2002年度事業報告・決算報告

議題2. 2003年度事業経過報告

議題3. 2004年度事業計画・予算審議

議題4. 研究助成金対象の選考について

議題5. 「Yogo teacher」の英語説明文について

議題6. その他

* 第12回総会に向けて会員の確認をします。

今年度会費を納入した会員が総会で議決権を持ちます。今年度まだ会費を納入されていない方には振込用紙を同封しましたので、お近くの郵便局からお振込みください。入れ違いに送金いただきました折はご容赦下さい。

* 第12回総会の委任状を同封しました。総会を欠席される方は委任状の提出をお願い致します。お手数ですが、50円切手を貼ってください。9月30日までに、ご投函をお願いします。

● ハーモニーの企画について ● アイデア募集

本学会は、養護教諭教育の実践や研究に関心を持つ会員によって構成された学術団体であり、学会の発展には、会員の皆様の積極的な参加が不可欠です。

そこで、会員相互の情報交換の場として、「ハーモニー」をもっと活用していただき、「ハーモニー」を通じて、学会の活動に対する要望や意見をどんどん寄せていただきたいと思います。

については、今後の「ハーモニー」の企画にあたり、会員の皆様からのアイデアを募集したいと思います。右記のハーモニー担当までご連絡下さい。

神奈川県立藤沢北高等学校 山崎隆恵

Tel 0466-82-2132 FAX 0466-83-3553

横浜市立高田東小学校 鈴木裕子

Tel 045-542-8777 FAX 045-541-4419

お知らせ

編集委員会より

☆「査読」の充実のために、会員の皆様のアンケートへのご協力をお願いします。同封の用紙に必要な事項をご記入いただき、9月30日までにFAXにて事務局までお送り下さい。

事務局より

☆2003年4月14日発行の中日新聞朝刊「しなやか悠々世代」の記事に誤った表現がありました。「養護学校教諭の経験糧に」とするところを「養護教諭の経験糧に」としていました。理事長名で文書による抗議をするとともに訂正文の掲載を申し出ました。その結果、5月4日付で訂正文が出されました。

☆学会誌のバックナンバーは、第1巻と第3巻の残部がなくなりましたのでご了承下さい(第2,4,5,6巻はあります)。

☆所属先の変更・連絡先の変更がありましたら、至急、事務局までお知らせ下さい(郵送またはFAX)。

編集後記

例年になく長い梅雨の後にはやはり酷暑の日々でした。でも、関東以北では冷夏のようなですし、九州地方の集中豪雨や東北方面の地震、北海道の台風と被害も相次ぎました。自然の力の前に人間は無力ですが、だからこそ、みんなで力を合わせて頑張っていくのだと思います。今後ともご支援をお願いします。(山崎)